

井上大聞

まず、ミラノ・スカラ座アカデミーでの三週間のプログラムという貴重な経験をさせて頂けたことに真に感謝申し上げます。

歌を志す人間が誰もが憧れるであろうスカラ座アカデミーでの時間は、本当に素晴らしい経験であったと共に、日本に居る間では知り得なかった発見が沢山ありました。

イタリアオペラに於ける伝統的な発声技術、イタリア語と日本語の発語の違い（日本語が喉の奥で発語されているのに対し、イタリア語はかなり前に出ている）、音楽や言葉の感じ方など…、

素晴らしい講師陣の教えからは確かな技術、何よりも生きた”音楽”を感じ取ることができました。

またイタリア・ミラノに三週間滞在して、日本との環境や人柄の違い、そして共通点を見出したこともこれからの自分の歌にとっての財産と成り得るように思いました。

例えば、湿度や空気の違いで声帯の管理が大変だったり、本当に男性と女性で扱いが違ったり、ミラノに住む方々は、毎日のように大きなピザやパスタを食らいワインを開け、夜遅くまで騒いでいるのにも関わらず次の日は朝から元気に行動していたことに驚かされたり（これは是非自分も見習いたい！）。

これらの人柄や文化があるからこそ、イタリア・オペラは存在しているんだなと痛感しました。

この三週間はこれからの自分にとって必ず大きな足掛かりとなります。

この経験に携わって下さった全ての方々に多大な感謝をしつつ、これからもより精進して参りたいと思います。

改めまして、本当にありがとうございました！